

3類型	観光資源	通巻番号	3-27-268
地域資源名	越後湯沢温泉	認定日	平成28年 2月 3日
地域	新潟県湯沢町	所管省庁	農林水産省、経済産業省、国土交通省

事業名:越後湯沢温泉を活用した温泉プログラム、温泉料理の開発・提供による地域活性化事業

会社名:株式会社いせん
(法人番号 7110001026605)
連絡先:TEL: 025-784-3361
FAX: 025-784-2013

所在地:新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2455番地
HP: <http://isen.co.jp/>

事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源である「越後湯沢温泉」を活用して、越後湯沢ならではの季節に応じた体験プログラム(春:山菜採り、夏:かぐら南蛮収穫、秋:きこの採り、冬:雪国体験)と越後湯沢温泉の温泉水で調理した料理(山菜温泉しゃぶしゃぶ、からいすけの冷製温泉スープ、カタハきのこの温泉リゾット、温泉雪室野菜鍋等)及び温泉水でつくったスイーツ・ドリンク・焼き菓子(温泉水と魚沼産コシヒカリでつくったロール等)を開発する。



【越後湯沢温泉】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

湯沢町では平成26年度には温泉を目的とした観光客は94万人と一定の市場規模があり、ここでしか体験できないプログラムは人気が高く定着している。

◆需要の開拓の方針

30代から40代の都内在住の女性をターゲットとする。これらの顧客は何度もリピートしている。既存顧客の中からこれまでの体験プログラム参加者を中心にリピート率の高い顧客に対して、ダイレクトメールを通じてアプローチを行っていく。



【温泉水で調理した料理】

◆商品の特性

本事業では、当社だけでなく、地域の旅館、ホテル、飲食店、物販店とも連携して、越後湯沢温泉をキーとした、滞在プログラム、温泉料理、温泉商品を開発して、これらを合わせたツアーを提供して「越後湯沢温泉」の価値を高め、シナジー効果を最大限に意識した共通ブランドの展開を目指すものであり、競合優位性があるといえる。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

・ 地域内の協力企業との連携が不可欠である。ホテル・旅館12社、飲食店14店舗、物販店7店舗及び越後湯沢温泉観光協会と連携して、新たな地域のツアーを開発する